

発見かんづま

— 北から南から —

脊振山麓習遊館と鳥羽院山荘



脊振町 習遊館

脊振山の大自然に囲まれた「脊振山麓習遊館」、「鳥羽院山荘」。
平成15年3月末で閉校となった脊振小学校久保山分校と鳥羽院分校の校舎を改修した社会教育施設です。施設内には、研修室・調理室・浴室などを備えていますので、学校行事や職場での宿泊研修などにもってこいです。
澄んだ空気に緑豊かな大自然を満喫できる「脊振山麓習遊館」「鳥羽院山荘」にぜひ一度おいでください。

連絡先 59-2131 (脊振公民館)
利用料 (10人以下で利用する場合)
一泊二日で全部で五千円
(人数に応じて利用料は異なります)

市民の声

平成七年一月の阪神大震災は記憶に新しい。全国から大勢のボランティアの方々が交通費を使い仕事を休み、一生懸命後片づけ等に汗を流しておられた姿に胸いっぱいになり感動しました。知り合いが避難していた事もあり、丸ポロ500個を送ったが、何の手伝いにも行けずテレビの映像に涙するだけでした。その年の六月私は宅老所の開設に関わる事になりました。困った時はお互いさま」を合言葉に、たくさんの方々の温かい心の交流が出来、その中で生かされ字ばせて頂いた事に心から感謝をしています。

家族をめぐる辛く悲しい事件が相次いでいます。もし、地域に気軽に集える居場所があったなら、悲惨な事件にはならなかっただろうと思います。神崎市という新しい未来都市を実現する為にも「地域で支え合う福祉」だれもが幸せになる為の福祉」の充実を願うものです。又、団塊の世代の私たちが今、一番大切な役割を持つていてと思っています。先輩方に学び、次の世代に正しく残し伝えていく事。その為には、世代交流の拠点を、市民自らで作り、それぞれが輝いて生きぬく事です。自然の美しい温かい心の通い合う神崎市。ふれあい社会の拠点に集まり、知恵を出し合い、たすけあい活動を通して喜びの種をまきたいものです。

神崎市千代田町下直鳥

宅老ちよだ

古川 雅子さん

編集後記

寒中御見舞申し上げます。
十二月の定例議会二十一日間と、一日間の臨時議会、新たに知った議会のルール、熱心な討議で締めくくった一年でした。

暦がいや応なしに運んでくる平凡な時や、伝統の歳事、数々の行事の積み重ねの中で、私達はすれ違った心を癒やし、豊かな心で「絆」を深めよう。これまでの数少ない体験を踏まえ研鑽に励み、今年一年「亥」の如く走ろう。

文責 田原 和幸

広報委員会

委員長	福田 清道
副委員長	角田 晴義
委員	古賀 安行
委員	田原 和幸
委員	白石 昌利